禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B60

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
１級 石材施工 学科試験問題
(石張り作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　ウォータージェットは、石材表面に高圧水を噴射して石材表面を切削し、滑らかな粗面仕上げとする方法である。

2　ディスクグラインダで板石を切断する場合は、一般に、ダイヤモンドカッターが適している。

3　採石とは、石の採取や採掘をしたり、石材を切り出すことをいう。

4　花こう岩を小割りする場合は、豆矢を使用するとよい。

5　小叩き仕上げの叩き目は、一般に、9mm程度の幅とするとよい。

6　打ちはだとは、のみ切り仕上げの状態をいう。

7　大理石の本磨き材は、浴室の床に適している。

8　日本産業規格(JIS)によれば、石材の物理的性質による分類において、硬石の吸水率は、5%以上15%未満とされている。

9　黒みかげと呼ばれる石材は、一般に、せん緑岩や斑れい岩などであることが多い。

10　AEコンクリートは、AE剤を混和して内部に微細な気泡を含ませたコンクリートである。

11　コンクリートのワーカビリティーは、作業が容易にできる程度を表す、フレッシュコンクリートの性質をいう。

12　日本産業規格(JIS)によれば、しみとは、石材表面の部分的な色調の不ぞろいとされている。

13　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、研削といしについては、その日の作業を開始する前には1分間以上、試運転をしなければならないとされている。

14　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、一定以上の高さの作業場所には作業床を設けなければならないが、その場合の作業床の幅は、つり足場の場合を除き、20cmとしなければならないとされている。

15　外壁石張り下地の建築構造がSRC造の場合、乾式工法が使用できる。

16　石厚40mm未満の石張りに使用するステンレス製の引き金物の径は、5mmが標準である。

［A群（真偽法）］

17　石張りにおいて、だぼ穴は、張り石の厚さの中心よりも仕上がり面側にあけるとよい。

18　外壁石張りに使用する石材は、吸水率の低いものを使用するとよい。

19　石先付けプレキャストコンクリート部材は、高層建築物や柔構造の建築物には適していない。

20　乾式工法のためのあと施工アンカーは、先付けアンカーに比べ、コンクリートの施工後に、所定の位置に取り付けられる簡便性がある。

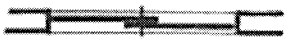
21　病院等においてストレッチャー等の衝突による石割れを防ぐのには、裏込めモルタルが有効である。

22　石張り施工面に発生したエフロレッセンス(白華)は、一般に、希釈したアルカリ性洗剤で洗浄する。

23　一般に、石目地に使用されるシーリング材は、シリコーン系よりも変成シリコーン系の方がよい。

24　建築基準法関係法令によれば、ひさしは、建築物の主要構造部とされている。

25　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、引違い窓を表す平面表示記号とされている。



［B群（多肢択一法）］

1　原石から一度に大量のひき石を切断する機械はどれか。
　イ　丸のこ切断機
　ロ　ホーミングマシン
　ハ　大のこ切断機(ガングソー)
　ニ　サンドブラスト機

2　石材の表面小叩き仕上げに使用する道具はどれか。
　イ　両刃
　ロ　のみ
　ハ　こやすけ
　ニ　せっとう

3　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　石材の(　　)をするために、ポリッシャーを使用した。
　イ　穴あけ
　ロ　研磨
　ハ　のみ切り
　ニ　溝加工

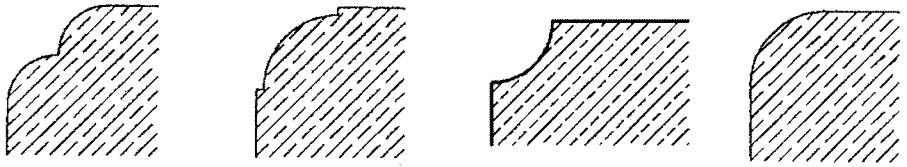
4　次の機械のうち、採石に使用されないものはどれか。
　イ　クォーリーバードリル
　ロ　ビーズソー
　ハ　ジェットバーナー(火焔削溝機)
　ニ　ダイヤモンドワイヤソー

5　ジェットバーナー仕上げに、最も適した石材はどれか。
　イ　大理石
　ロ　花こう岩
　ハ　石灰岩
　ニ　砂岩

6　石材の磨き仕上げをする場合の順序として、適切なものはどれか。
　イ　本磨き→粗(荒)磨き→水磨き
　ロ　本磨き→水磨き→粗(荒)磨き
　ハ　粗(荒)磨き→本磨き→水磨き
　ニ　粗(荒)磨き→水磨き→本磨き

［B群（多肢択一法）］

7　次図のうち、銀杏面はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

8　日本産業規格(JIS)によれば、石材の物理的性質による分類において、硬石に区分される圧縮強さとして、正しいものはどれか。

イ　4903N/cm²(500kgf/cm²)以上
ロ　1471N/cm²(150kgf/cm²)以上、4903N/cm²(500kgf/cm²)未満
ハ　981N/cm²(100kgf/cm²)以上、1471N/cm²(150kgf/cm²)未満
ニ　981N/cm²(100kgf/cm²)未満

9　主成鉱物に石英、長石、雲母等が含まれる結晶質の石の種類として、正しいものはどれか。

イ　安山岩
ロ　粘板岩
ハ　花こう岩
ニ　凝灰岩

10　花こう岩と比較した場合の凝灰岩の一般的な性質として、適切なものはどれか。

イ　耐火性に優れている。
ロ　耐久性に優れている。
ハ　吸水率が低い。
ニ　圧縮強度が大きい。

11　石材用弾性接着剤(1液型)に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　耐震性に優れている。
ロ　2液型に比べて、作業の簡略化が図れる。
ハ　使用後の接着剤は、密閉して保管する。
ニ　下地を水洗いした直後に使用する。

12　2液型エポキシ樹脂接着剤に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　硬化による体積変化が大きい。
ロ　耐候性に優れている。
ハ　硬化時間を短縮するために、硬化剤の量を多くするとよい。
ニ　オープンタイムは、使用時の温度の影響を受ける。

［B群（多肢択一法）］

13　日本産業規格(JIS)における、石材の欠点に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　そりとは、石材の表面及び側面における曲がりをいう。

ロ　き裂とは、石材の表面及び側面におけるひび割れをいう。

ハ　くされとは、石材中の簡単に削り取れる程度の異質部分をいう。

ニ　へこみとは、石材の表面及び側面に現れた穴をいう。

14　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、高さ又は深さが(　　)mを超える箇所で作業を行うときは、安全に昇降するための設備等を設けなければならない。

イ　1.0

ロ　1.5

ハ　2.0

ニ　2.5

15　脚立足場に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　脚立の脚と水平面との角度は、75度以下とする。

ロ　脚立と脚立の間隔は、2.0m以下とする。

ハ　足場板は、3以上の脚立の踏桟に架け渡す場合を除き、足場板を踏桟に固定する。

ニ　足場板を長手方向に重ねるとき、重ね合わせの部分は、20cm以上とする。

16　湿式工法による外壁石張り工事における下地の確認項目として、適切でないものはどれか。

イ　シアコネクタの取付け位置

ロ　流し鉄筋の位置及び取付け状況

ハ　鉄筋の防錆(せい)処理状況

ニ　アンカーの位置とピッチ

17　墨付けをやり直した場合に打つ墨として、適切なものはどれか。

イ　陸(ろく)墨

ロ　芯墨

ハ　返り墨

ニ　にじり墨

18　石材の合口(合端)を突付けとして密着させる目地はどれか。

イ　シーリング目地

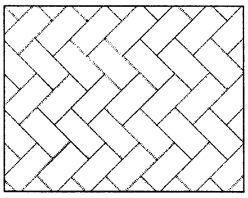
ロ　モルタル目地

ハ　ねむり目地

ニ　空目地

［B群（多肢択一法）］

19　次図の床石張りの名称はどれか。



イ　四半張り
ロ　亀甲張り
ハ　方形乱張り
ニ　あじろ張り

20　張石工事の品質管理に関する記述として、適切でないものはどれか。
イ　ひき板加工に先立ち、表面仕上げを施した見本品を作成し承認を得る。
ロ　加工後の製品検査では、承認見本と差異が無いことを確認する。
ハ　製品検査においては、対角線長さ及び反りについては、全数検査を実施する。
ニ　色調は、限度見本と比較し検査する。

21　乾式工法のための先付けアンカーに関する記述として、誤っているものはどれか。
イ　耐力が大きく、信頼性がある。
ロ　型枠工事前に石割り図を決める必要がある。
ハ　取付け位置の精度確保が難しい。
ニ　下地コンクリート打設後に施工できる利点がある。

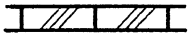
22　板石の反りの原因として、関係のないものはどれか。
イ　部材の面積
ロ　部材の色
ハ　部材の厚み
ニ　部材の縦横比

23　労働安全衛生法関係法令によれば、技能講習の修了が運転の要件の一つとなっている揚重設備はどれか。
イ　最大荷重が1.5tのフォークリフト
ロ　つり上げ荷重が1tのクレーン
ハ　建設用巻上げ機
ニ　建設用リフト

24　建築基準法関係法令によれば、構造耐力上主要な部分でないものはどれか。
イ　壁
ロ　柱
ハ　階段
ニ　はり

［B群（多肢択一法）］

25　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次の材料構造表示記号が表すものはどれか。



イ　普通ブロック壁
ロ　壁一般
ハ　軽量ブロック壁
ニ　軽量壁一般